



福岡市社会福祉協議会
マスコットキャラクター
ここと



社会福祉法人福岡市社会福祉協議会
城南区社協事務所（城南区社会福祉協議会）
福岡市城南区鳥飼 5-2-25 城南保健所 1階
TEL:092-832-6427 FAX:092-832-6428
Eメール:jounanku@fukuoka-shakyo.or.jp

そうか、その手があった!

～オンライン活用の取組み～

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、別府校区では、「事業所と連携した対面でのワークショップの代わりに何か地域と事業所がつながる取組みができないか」と関係者で悩んでいました。また、堤地区社協では、「ふれあいネットワーク研修会を企画したが、人数制限のため参加者全員が会場に入れない。しかし、日頃の見守り活動の大切さを共有するため、何とか研修会を開催したい!」との思いがありました。

そこで、初の試みとして、“Zoom(ズーム)”(※1)を活用することとし、別府校区では公民館と高齢者施設「白熊園デイサービスセンター」を中継して健康教室を開催し、「はなれてもつながる」ことができました。一方、堤地区では、公民館1階会場で行われる講演を、2階の部屋に同時中継することで、対象者全員が研修会に参加することができました。

別府校区

白熊園デイサービスセンターから健康体操をレクチャー!



白熊園デイサービスセンター



別府公民館

堤地区



堤公民館 1階



2階から1階の講師に質問!



堤公民館 2階



(※1) Zoom(ズーム)

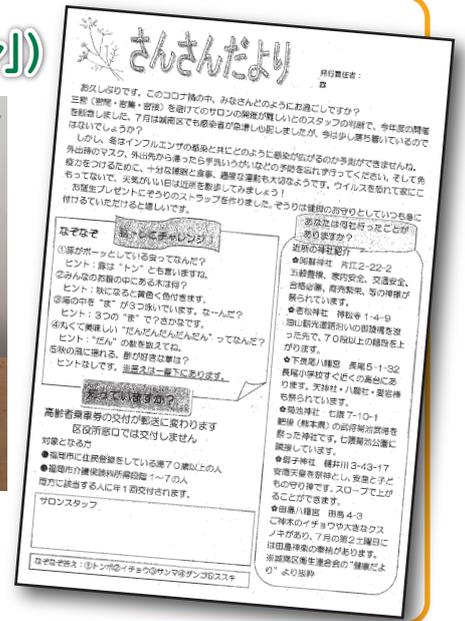
パソコンやスマートフォンを使って、セミナーやミーティングをオンラインで開催するために開発されたアプリ

地域での新しい取り組みや工夫をシリーズでご紹介します

片江(はなれてもつながる取組み「ふれあいサロン」)

片江校区の「さんさんサロン」では、コロナ禍のため令和2年度は開催を見送りました。しかし、ボランティアで利用者のためにできることを話し合い、草履のストラップ(転ばぬようにと気持ちを込めて)とアマビエの折り紙(疫病退散)をサロンだよりに添えて配り、利用者から大変喜ばれました。

校区内にある他のサロンも、利用者から「サロンがなくて寂しい」「みんなと会いたい」などの声を受け、「3密防止」「マスク着用」等の感染対策を徹底し、5月の端午の節句や誕生会、世代交流を行うなど、はなれていても人とのつながりを途切れさせない活動を行いました。



南片江(ふれあい配食事業)

南片江校区社協では、2年前に「高齢者配食」を「ふれあい配食」の名称に変更し、ふれあいネットワーク活動(高齢者、障がい者、子育て世帯等を見守る活動)の一環として位置付けました。そのことにより、配食の対象者を高齢者に限定せず、見守りが必要な人とし、自治会長と民生委員が一緒にお弁当を持参し、対象者宅を訪問しています。令和2年度もコロナ禍の中でしたが、訪問時間を短時間にするなど工夫して11月と3月に実施し、対象者の状況を把握しました。



別府子ども食堂

子ども食堂立ち上げのため、株式会社を設立し令和2年8月1日にオープン!

子どもは賑やかに、子育て中の親は少しでもほっとできる場所として週3回、スタッフ全員でメニューを考え食事を作っています。子どもや親子など毎回25名~50名が食事(無料)をしていましたが、新型コロナウイルス感染者が増加している期間は、お弁当に切り替えるなど工夫しながら食堂を続けています。

【開催日時】

火・木・土 (PM4:30~PM8:00)

【お問合せ】

☎ 080-6439-2591

中華弁当!

彩りに気を付けています!



賛助会費

~賛助会員の皆様ありがとうございました~

令和2年に福岡市社会福祉協議会城南区社協事務所賛助会員にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

個人

29件 38,500円

団体

8件 80,000円

賛助会員を募集しています

個人

1口
500円

団体

1口
10,000円

